

## アルコール健康障害対策基本法 推進宣言

本日私たちは、日本のアルコール対策の歴史的な1ページとなる日を迎えることができました。  
この場に集う、当事者、家族、専門家、支援団体、超党派議員連盟、関係省庁、酒類業界など、すべての関係者が、共に手をたずさえ、基本法の推進に力を尽くすことを、ここに誓い合いたいと思います。

わが国では長いこと、不適切な飲酒はさまざまな問題に覆い隠され、その影響力の大きさ、深刻さが、社会に認知されていませんでした。

家族は、解決の方法がわからないまま飲酒問題に悩み、当事者が専門治療につながるまでに長い年月を要してきました。そして回復の場にたどりつけるのは、ごく一握りの幸運な人たちでした。

悲惨な飲酒運転事故が今も繰り返され、その背景にある飲酒問題への介入の試みは、ようやく始まったばかりです。

飲み会でのアルコールハラスメントによって若者が命を断たれる悲劇も、一向にくなりません。

支援に取り組む側も、個々の熱意だけでは限界にきています。

地域での連携が早期介入に結びつくことは明らかなのに、全国的な広がりを見せていません。

救急医療の現場はアルコール関連の搬送者により疲弊し、各地で危機的状態にあります。

公的な相談の受け皿は不足しており、人材養成のシステムも確立していません。

一般医療、福祉、介護、司法、DV・虐待被害者支援など、飲酒が背景となる問題に対応する場でも、正しい認識が共有されていません。

今こそ、現状を変えなければならない！

この問題に関わる一人一人が思いをひとつにしたからこそ、アルコール健康障害対策基本法は誕生しました。

私たちがめざすのは――

アルコールについての正しい知識の普及、依存症への偏見の是正。

早期発見・早期介入を可能にする、職種や立場を超えた連携づくり。

回復を応援する社会の実現、当事者と家族への支援の充実。

不適切な飲酒がもたらす数々の悲劇を未然に防ぐ、予防のしくみ。

私たちは、今ここから対策推進への一步を共に踏み出すことを、宣言します。

2014年5月25日

「アルコール健康障害対策基本法推進の集い in 東京」参加者一同